皇紀二千五百九十八年　昭和十三年一月十九日　京城日報（市内版）　（明治卅九年八月十日第三種郵便物認可）　第一萬八百四十三號

京城日報
十八日夕刊（火）
編輯兼發行人　備谷寛一
印刷人　小川三之介
京城府太平通一丁目
發行所　合資會社　京城日報社

講書始の御儀

【東京電話】新春宮中御恒例の講書始の御儀は、十八日午前十時より鳳凰間において天皇、皇后兩陛下出御、親しく行はせられた
晴れの御進講者佐々木信綱、藤塚鄰、長岡半太郎各博士、關院山田孝雄各委員、高田眞治、洋書を各三十分に亘つてそれぞれ御進講申上げ、兩陛下には終始御熱心に御聴取あらせられ、十一時半入御あらせられた、何進講者に對しては酒饌を下賜あらせられ一同光榮に感激して退下した
（参考文献：大教授〈長與東大總長病氣のため拜辭〉の諸氏各本位に参着、御陪聴、閑院参謀總長宮、東久邇宮妃、賀陽宮妃各殿下も御臨席、御進講者は光榮に感激しつゝ御前に参進、國書、）

海州に府政　十月末から實施

地元の要望既に久しい海州邑の府昇格に就ては本府内務局でも府政施行の必要を認め、之が關係經費の査定に於て一萬四千百四十圓を十三年豫算に要求中の處大藏省承認されたので、愈上議會通過を俟ち十月末から海州に府政を實施することとなつた、因に右經費は府尹一名、屬四名（内務、財務兩課長）其他の人件費である

一大飛躍をなしつゝある　本府の明年度豫算
總額五億五百十五萬九千圓
前年度に比し八千二百餘萬圓の激增

戰時體制下に一大飛躍をなしつゝある朝鮮總督府昭和十三年度特別會計豫算は既報の通り五億五百十五萬八千九百六十五圓で、前年度に比し實に八千二百三十二萬一千二百七十五圓といふ大激增振りを示してゐる、これを歳入出別に見れば歳入經常部に於て三億六千七萬五百七十二圓に達し前年に比し四千四十四萬二百五十五圓の增となり、臨時部に於て一億四千五百八萬八千三百九十三圓で前年に比し四千百八十八萬千二十圓の增を示してゐる、一方歳出經常部に於ては二億六千九百三十六萬五千百六十八圓に及び前年度に比し五百二萬三千四百五圓の增加、臨時部に於ては二億三千五百七十九萬三千七百九十七圓で前年に比して七千七百二十九萬七千八百七十圓の增を示してゐる、この半島十三年度豫算は政府の緊縮方針にも拘らず八千餘萬圓の激增振を示してゐることは如何に半島の重要性を認められたかを明かにするもので施政以來のことである、この飛躍的豫算の内譯を見ると教育の擴充、勸業、産金政策、北支への貿易躍進等々が上げられてゐる

昭和十三年度朝鮮總督府特別會計豫算綱要
第一　歳入歳出豫算額並に前年度豫算額との比較（△印は減）

區別	昭和十三年度豫算額	昭和十二年度豫算額	比較の差（增）
歳入 經常部	三六〇、〇七〇、五七二圓	三一九、六三〇、三一七圓	四〇、四四〇、二五五圓
臨時部	一四五、〇八八、三九三	一〇三、二〇七、三七三	四一、八八一、〇二〇
計	五〇五、一五八、九六五	四二二、八三七、六九〇	八二、三二一、二七五
歳出 經常部	二六九、三六五、一六八	二六四、三四一、七六三	五、〇二三、四〇五
臨時部	二三五、七九三、七九七	一五八、四九五、九二七	七七、二九七、八七〇
計	五〇五、一五八、九六五	四二二、八三七、六九〇	八二、三二一、二七五

第二　歳入增減内譯

項目	金額
一 租税收入の增加	八、一九二、〇三四
二 印紙收入の增加	一、九二九、七五七
三 官業及官有財産收入增加	二九、三五二、三一六
四 公債金の增加	四一、〇〇〇、〇〇〇
五 前年度剩餘金繰入の增加	一、九六〇、八七三
六 其の他	△一一三、七〇五

第三　歳出增減内譯

項目	金額
一 當然增減	△二五、四七七、一〇六
内 前年度豫算に伴ふ月割差增減	四、九八五、〇七七
既定年割額に依る繼續費の增減	△二、一三三、三五九
既定計畫に依る增減並前年度限り經費の減少	△二八、三二八、八二四
二 新規增加額	一〇七、七九八、三八一
内 (一) 教育及教化に關する經費	二、八五八、九六六
教學官新設の經費等	三五、〇五三
初等教育擴充計畫に伴ふ師範教育擴充並增設初等學校經費補助の增	一、二九四、七六〇
京城帝國大學理工學部新設	五三、八一六
同 附屬醫院内容充實其の他	二〇四、五三五
京城醫學專門學校附屬醫院内容充實	三二、七一七
水原高等農林學校獸醫畜産科學年進級	三五、五四四
京城高等工業學校機械工學科及電氣工學科新設並鑛山科擴張	三四一、四八八
京城工業學校の經費	三、九七二
[illegible]學機關充實の經費等	五四、一一二
教育補助	五一九、六〇七
中等教育擴充計畫に依る經費補助	四三九、三三〇
既設各學校學年進級に伴ふ補助	九、六〇六
基督教系私立學校經費補助	四六、八八四
短期現役服役教員俸給補助	四、一六七
新設實業補習學校補助	七、五〇〇
京城女子醫學專門學校補助	五、〇〇〇
教員疾病休養費補助	七、一二〇
陸軍兵志願者訓練費	三三四、三三四
其の他	五九、〇二八
(二) 勸業に關する經費	二、七〇九、五一三
朝鮮牛增殖計畫擴充の經費	三三七、五〇四
[illegible]增産計畫擴充の經費	二二五、四四〇
濟州島開發の爲家畜傳染病豫防施設費	五、二九五
米穀檢査の經費	一四三、七八七
輸移入植物檢査並果樹病蟲害防除研究の經費	三六、七七二
肥料取締の經費	四、〇一二
鑛業警察規則等施行の經費	二六、八一五
棉作に關する經費	九一、七四八
液體燃料政策擴充の經費	五三四、六五六
機械工及電氣工養成の經費	一五、〇〇〇
水力發電工事計畫審査に要する委員會費等	五〇、〇〇〇
副冷作物の栽培獎勵の經費	一三、四〇〇
發明獎勵の經費	二〇、〇〇〇
中小工業の助成	五〇、〇〇〇
工藝品の意匠圖案研究の經費	七一、一二三
産業組合の新設に要する經費	三二、五〇〇
電氣計器檢定の經費	四二、一〇一
臨時米穀移出統制費	六六三、〇〇〇
船渠築造費補助	二〇〇、〇〇〇
北鮮沿海漁業調査に要する經費	一〇一、七一八
漁業經營費低減施設費	二一六、六七〇
水産試驗船修繕費	五、六八四
水産製品檢査所經費	五五、一六三
其ノ他	△二三二、八七五
(三) 産金獎勵に要する經費	二、九四〇、五五六
産金獎勵に關する事務費	七一、五七五
探鑛補助	五一二、〇〇〇
鑿岩機設備費補助	五二七、〇〇〇
選鑛設備費補助	三四九、八〇〇
金銀鑛業共同施設費補助	四七、二〇〇
低品位金銀石買鑛獎勵補助	三二〇、〇〇〇
製鍊研究に要する經費	一八、〇一八
鑿岩工養成所新營費	三〇、〇〇〇
金山道路改修に要する補助	一、〇〇〇、〇〇〇
金山送電設備施設費	三八、一〇四
電氣工事人養成の經費	二六、八五九
(四) 貿易の助長及統制に關する經費	二七七、四一六
滿洲及北支等に對する輸出貿易助長及統制費	二三六、七六七
陸接國境其の他關税機關充實の經費	四〇、六四九
(五) 衞生に關する經費の增加	三九、二七八
總督府結核豫防に關する經費	二三、〇六〇
癩療養所經費增加	一六、二一八
(六) 警察及司法に關する經費	二、六〇三、九八一
惠山鎭支廳新設に要する經費	七五、八八八
濟州支廳に專任檢事配置に要する經費	九、六六四
登記事務增加に伴ふ增員の經費	一一、六九一
大田及平壤法院廳舍等竣工に伴ふ經費	三一、九七四
司法官試補增員に要する經費	二二、二六〇
仁川少年刑務所の經費	八、二三〇
刑務所作業の擴張等の經費	四五八、七〇〇
既往の實績に依る裁判及登記諸費並刑務所收容費の增加	二六〇、一六三
防空に關する經費	七三八、六三一
活動寫眞『フイルム』檢閲に要する經費の增加	八、〇九四
高等外事警察に關する經費	八、六八六
警備電話等の維持に要する經費	一二二、四〇六
新設驛及鑛山に配置の警察官並諸顧問巡査增員に要する經費	一七〇、一八八
警察官講習所の經費	三七、八一九
羅津警備船の新造及維持の經費	三〇四、七七二
市街地建築物取締の經費	一〇、九一二
裁判所營繕費	八八、八〇〇
刑務所營繕費	四七、二八二
警察官署營繕費	七三、〇〇〇
其の他	二四、八二一
(七) 交通及通信に關する經費	一六、八三五、四六一
航空施設に關する經費	五四七、二八四
鐵道新線開通並事業轉進等	[illegible]
遞信事業轉進等の經費	[illegible]
電信電話施設費	[illegible]
遞信官署營繕費	[illegible]
航路補助	[illegible]
航路標識營繕	[illegible]
(八) 專賣及鹽業に關する經費	[illegible]
廢鹽事業に要する經費	[illegible]
煙草賣行增進、鹽田築工並阿片增産等に伴ふ專賣事業費	[illegible]
同上新營及設備費	[illegible]
阿片耕作取締費	[illegible]
(九) 營林に關する經費	[illegible]
營林事業並林産物處分に關する經費	[illegible]
パルプ及木材資源調査の經費	[illegible]
(十) 在外朝鮮人に對する施設に要する經費	[illegible]
在滿朝鮮人に對する施設に要する經費	[illegible]
移民選定並移住適地調査に要する經費	[illegible]
教育補助費	[illegible]
鮮滿拓殖株式會社移民施設費補助	[illegible]
在支朝鮮人に對する施設費	[illegible]
避難者保護救濟並取締に要する經費	[illegible]
安全農村設置に要する補助	[illegible]
(十一) 營繕及土木に關する經費	[illegible]
地方土木事業補助（總工費二、九七七、〇〇〇圓）	一、六四一、三六八
金山道路改修費補助	[illegible]
港灣維持及設備費	[illegible]
總督府構内電話改裝	[illegible]
地方廳新營	[illegible]
税務官署新營	[illegible]
税關新營	三、六九〇
各所新營	一五〇、〇〇〇
修繕費、事務費等	三〇六、八九四
水害復舊並復舊補助	三二一、二八〇
(十二) 既定繼續費の增減	四二、八七九、〇八〇
總督府博物館新營費の繰延	△七二〇、〇〇〇
京城帝國大學附屬醫院新營費の繰延	△一〇〇、〇〇〇
專賣局廳舍及工場新營費の繰延	△四〇〇、〇〇〇
師範學校新營費の追加（總額三三四、八一六圓三ケ年繼續）	[illegible]
京城飛行場其の他航空路施設費の追加（總額四、四〇七、〇〇〇圓三ケ年繼續）	一九四、四〇〇
電信電話擴張及改良費の繰延	△[illegible]
内鮮連絡電話施設費の追加（昭和十三年度限追加）	[illegible]
道路修築及改良費の繰延	△[illegible]
國防道路修築改良費の追加（總額六五五、〇〇〇圓二ケ年繼續）	[illegible]
港灣修築及改良費の繰延	△[illegible]
多獅島港修築費の追加（總額一三、〇〇〇、〇〇〇圓六ケ年繼續）	[illegible]
治水事業費の繰延	△[illegible]
惠山鎭防水工事費追加（昭和十三年度限追加）	[illegible]
鐵道建設及改良費の繰上	[illegible]
同京城平壤間複線工事費の追加（總額三九、〇〇〇、〇〇〇圓三ケ年繼續）	[illegible]
清津西港防波堤築造工事費繰上	[illegible]
大同江改修費の追加（總額五三〇、〇〇〇圓二ケ年繼續）	[illegible]
同遞信施設擴充費の追加（昭和十三年度限追加）	[illegible]
同 繰延	△[illegible]
鹽田築造費の追加（總額三、八七五、〇〇〇圓五ケ年繼續）	[illegible]
(十三) 新規繼續費	[illegible]
京城帝國大學理工學部建物其他設備費（總額一、［illegible］五ケ年繼續）	[illegible]
金山送電施設費（總額三六、〇〇〇、〇〇〇圓）	[illegible]
(十四) 臨時軍事費特別會計へ繰入	[illegible]
(十五) 節約に依る經費の減少	△[illegible]
獸疫血清製造所	△[illegible]
專賣局煙草購入費及原價償却費等	△[illegible]
中小河川改修費補助	△[illegible]
朝鮮信託株式會社補助	△[illegible]
米穀自治管理倉庫建設費補助	△[illegible]
土地改良事業費	△[illegible]
在外鮮人施設費	△[illegible]
朝鮮史編纂費	△[illegible]
林野調査委員會費	△[illegible]
(十六) 雜件	[illegible]
公債償還繰入金の增加等	[illegible]
第二豫備金の增加	[illegible]
恩給負擔金の增加	[illegible]
罹災救助基金造成の爲積立金に對する補助	[illegible]
弘報事務擴充	[illegible]
總督府廳舍別館竣功に伴ふ經費	[illegible]
人口動態調査既定計畫に依る增加	[illegible]
海州邑に府制施行	[illegible]
社會行政及移民指導機關擴充	[illegible]
豫算事務の爲	[illegible]
租税の增加に伴ふ税務官署内容充實等	[illegible]
米穀自治管理に要する補助費	[illegible]
國境治水調査費	[illegible]
租税制度調査費	[illegible]
國體明徵に關する補助	[illegible]
國語普及施設に要する經費	[illegible]
地方改良事業並青年訓練所增設	[illegible]
朝鮮體育協會事業擴充補助	[illegible]
拓殖獎勵館補助	[illegible]
軍事援護事業費補助	[illegible]
地方費補助	[illegible]
道路港灣整備費	[illegible]
農村經濟更生施設費	[illegible]
臨時經濟調査費	[illegible]
鐵道用品資金繰入	[illegible]
土地買收費	[illegible]
諸支出金	[illegible]
其の他	[illegible]

内鮮滿支を結ぶ　交通發達に拍車
四月一日から改正

全滿のダイヤ

【奉天十七日同盟】事變のため實施延期となつてゐた全滿の鐵道ダイヤ改正は來る四月一日より愈々實施斷行されることになり、鐵道總局では各關係機關と密接なる連絡をとり研究を進めてゐるが、改正要點は
一、大陸鐵道の一元的運營をモットーとし滿鮮支三鐵道との密接なる連絡を基調に列車の配置替、スピードアップをはかる
二、北鮮方面は日滿間の最短路たる眞價を發揮するため、船車連絡の緊密化をはかり列車のスピードアップを試みると云ふのであるが、なほ鮮鐵特急「あかつき」の奉天延長「ひかり」のハルビン延長及び釜山北京間の旅客列車新設京圖線急行列車增設等も着々具體化しつゝあり、右ダイヤ改正の曉は内鮮滿支を結ぶ交通發達に一層拍車を加へるものと期待されてゐる

濟寧北方四十哩の　汶上を占據
銀世界の城頭高く日章旗飜る

【濟南十七日同盟】山東省中部の山岳地帯に蟠居する于學忠麾下の殘敵を擊破した我が石田部隊は泰安から更に東南部の蒙陰、歷山に進出したが、十七日正午には山東省東南部の要地たる沂州城に迫つた、目下なほ抵抗中の敵に對し猛攻擊を加へてゐる、一方我が○○部隊の一部は十六日夜來の降雪をものともせず、十七日正午には濟寧北方四十哩に當る湖沼地帯の要地汶上を占據して銀世界の城頭高く日章旗を揭げた

全鮮に青訓を擴大！
指導者を在鮮四箇聯隊に入れ　進歩した實際教育を委囑

朝鮮人志願兵制度決定に伴ひ半島における青年訓練所の重要性は益々緊密の度を加へるに至つた、現在訓練所の數は全鮮八十四ケ所で昨年末現在の入所生は内地人七百六十九名、朝鮮人七百五十二名に達し何れも軍事教練を實施してゐるので、志願兵制度の確立に伴ひこれ等訓練所卒業生には入隊の特典が附與されるわけで、本府は陸軍兵志願者の訓練所の開設と同時に全鮮に青訓の新設を擴大する方針である、一方陸軍省は一昨年春近代科學戰並に機械化された戰鬪を加味した步兵操典草案を制定して、現在この草案を採用せんとしてゐるが、これ等青訓に配屬された指導者は殆んど豫後備役者でこの操典を知らぬので、之を習得せしめ今後半島青年訓練と現役軍との差異を少くし半島青年の軍事訓練に一大改革をなす意味から本府學務局では在鮮四ケ聯隊に全鮮を四分して現在陸軍の進步した實際教育を陸軍に委囑して教育することゝなつた、青訓指導者は六日間夫々指定された聯隊に入り、兵士と共に起居して講習を受けることゝなつたが、その講習を擔任する聯隊及日次並に實施要領は次の通り
◇步兵七七聯隊（平壤）三月十一日より十六日まで平北平南
◇步兵七十八聯隊（龍山）三月廿一日より廿六日まで黃海、京畿
◇步兵七十九聯隊（龍山）三月十四日より十九日まで忠北、忠南
◇步兵第八十聯隊（大邱）三月九日より十四日まで全南、慶北、慶南【全北】
その實施要領は（イ）學科の時間を努めて少くし、術科を多く實施し特に率先活模範を示し得るの（ロ）備を附與し、普及事項は青年教練に必要なる事項として教育分隊以下の動作を主として教育し、中小隊教練を見學す（ハ）……
一、陣中勤務の教育步哨、斥候、傳令（特に步哨教育法）（ハ）瓦斯教育
1、瓦斯の特性及性狀
2、防護法
3、應急處置
（ニ）一部の時間を割き輕機關銃擲彈筒、手榴彈の構造機能、取扱法に關する概念を會得せしむ（ホ）大隊砲、聯隊砲、速射砲その他必要なる兵器、射擊、手入材料を見學す（ヘ）防空の概念（ト）救急法の大要

教學官を新設

南總督の五大政綱中の最大目標として本府が全力を傾注してゐる學制改革、教學刷新、初等學校倍加計畫の短縮に伴ふ昭和十三年度豫算を見ると、初等教育擴充計畫に伴ふ師範教育の擴充並に師範學校（男女各一校）の增設、半島產業擴充に伴つて愈上教學官を新設することゝなつた、即ち教學刷新の企業に鑛工業の躍進に伴ふ京城帝大に理工學部新設、京城高工の機械工學科及電氣工學科の新設並に鑛山科擴張等で、これ等各種新規事業と教育刷新、社會教化事業の指圖事務を擔當する視學官級の教學官を二名及び屬數名を新設せしめることゝなつた

長野（祐）部隊青島到着
膠濟全線を確保す

【濟南十八日同盟】膠濟線を東へ長野（祐）部隊の先鋒は十七日午後男壯湖青島に到着、先發友軍との連絡を完成し青島濟南を結ぶ膠濟全線は皇軍の確保する所となつた

南昌飛行場の　蘇聯機は百台
英佛飛行士も交る

【ニューヨーク十七日同盟】蘇聯の對支軍事援助は最近益々露骨となり積極化しつゝあるが、十七日當地に達したA・P南昌電は蘇聯の活躍狀況を左の如く報じてゐる
現在南昌飛行場には少く見積つても百台に及ぶ蘇聯軍用機が活躍してゐる、而もその大部分は新鋭の爆擊機である、蘇聯の操縱士及び機關士の數も百名を超え連日南昌飛行場から長驅日本軍陣地爆擊に出かけてゐる、現在之ら蘇聯軍人に對し支那側の監視的態度は非常に嚴重で、外部から近づく事は全く不可能だが蘇聯軍人は市内到る所で見かけることが出來るし、空には毎日蘇聯飛行機が飛んで居る、蘇聯以外の外國人の飛行機の樣子も最近の空中戰の結果判明するに至つたが、その内某フランス飛行家は南昌上空で六台の日本飛行機と戰鬪を演じたあげく約一時間の後射落され辛うじて濟陸したが數時間の後メソヂスト病院で死亡した、又蔣介石の指令で蘇聯空軍と協力のため南昌にやつて來たホワイト　ヘッドと云ふイギリス人も空襲と聞いて直ちに飛行場を飛出して六台の日本軍と猛烈な空中戰を演じたが、遂に敵彈が機體に命中自分の肩をやられたのでパラシュートで逃れ、メソヂスト病院に收容された、某蘇聯操縱士も漢陽揚上空で日本飛行機にやられ現在同病院で病後を養つてゐる

宣戰布告より強し
"國民政府を相手とせず"の意を　風見翰長鮮明にす

【東京電話】去る十六日發表された帝國の對支重大聲明中『國民政府を相手とせず』と云ふ字句に關し十八日風見書記官長は政府の意向を代表して非公式にその内容を左の如く語り其意義を鮮明にした
『相手とせず』と云ふ言葉は國民政府を否認すると云ふよりも強い意味をもつてゐる、何故ならば支那における新興政權を直ちに承認する事によつてその反對効果として國民政府を否認すると云ふのではなくて、一方的な『相手とせず』と云ふ強力な意思表示だからである、又これに關聯して宣戰布告の問題が論ぜられてゐるやうだが、宣戰布告は帝國政府が支那國民を相手とする意味で、既に帝國政府は國民政府をもつて支那國家國民を代表するものにあらずと斷じ、東洋平和のため只一途これが潰滅の聖戰を進めると云ふ意圖をもつて『相手とせず』と決定したのであるから、この點我方の意思は宣戰布告よりも強いものである

廿日臨時京城府會

京城府では廿日午後二時から臨時府會を招集、防空費、土木、衞生水道、教育、社會等約廿五萬圓の今年度追加豫算を附議するとになつたが、今府會には水產市場直營問題は提案せず十七日の懇談會席上において府議全部終始沈默を守つたなど成行は相當注目されてゐる

人

◇中山少將（東京兵器廠長）入城中のところ十八日元山へ
◇北村留吉氏（平南商工課長）十八日朝入城本町ホテル
◇石渡信太郎氏（忠北同）同上
◇岸川於兎松氏（慶南同）同上
◇川崎延壽氏（慶北同）同上
◇小倉孝三氏（忠北産業課長）十七日夜入城同上
◇立山軍藏氏（平南農務課長）同上
◇影澤亮氏（全北同）同上

天地玄黄

陛下聖上陛下の御稜威一度臣民奉公の道たゞ忠誠以て生くる報國に精進すべきのみ
×
根本國是の鮮明と同時に世界が急に明るくなつた感
×
蔣介石これよりテキパキ解決されむ、差當り川越大使の引揚げ
×
これから新鐵道を敷設して鮮滿から武器輸入計畫とある。氣の長い話だが、なるほど長期抗戰の一ゼスチュアともいへる
×
北支の新政權に國の慶福、日本國民の進むところ、神社と離るべきはなし

本日夕刊四頁

志願兵を收容する陸軍豫備訓練所
廿二萬餘圓を豫算に計上
京城近郊に新設

☆☆☆☆☆☆☆☆

今春四月から實施される待望の朝鮮人の志願兵制度により本府學務局ではこれに順應して陸軍豫備訓練所を開設することに決定、昭和十三年度豫算に經費廿二萬四千三百三十四圓を計上した訓練所は京城近郊に廣大な練兵場と校舍及び寄宿舍を新設、生徒約四百名を二期に分つて入所させ六ヶ月間養成しパスした者は第十九、廿兩師團管下部隊に分散入隊させるもので、學務局では近く場所を選定し遲くも六月頃迄には開所し十一月の卒業生を十二月の入營期に入隊させる方針である

☆☆☆☆☆☆☆☆

血書して志願
十八歲の純情店員

志願兵制度は事變下の半島青年の血を沸きたゝせ、全半島に吹きまくる一大愛國の旋風の中に潮のやうに押寄せる志願者の『是非軍人になりたい』といふ熱願はつひに悲壯な血書の志願となつて現れた

十八日朝細雨の中を京城憲兵分隊を訪づれた京城本町四ノ三五中野商店々員安萬求君『（一八）といふ少年『僕は軍人になれなかつたら生きては居りません』と少年の純情さと感激をぶちまけて係の友宗曹長に血書の志願書を差出した、一枚の手紙には「私は大日本帝國男子です、兵隊にとうとして下さい、安萬求、當十八歲」とあり、一枚には「大日本帝國萬歲、天皇陛下萬歲、南總督萬歲」と書き中央に日の丸の旗が描いてあつた、少年は右の人さし指を鋭利な小刀で切り滴たる鮮血で書いたものである、安少年の實家は忠南唐津郡合德面石隅里六八六で父親は

方に農家で、妹二人と弟二人が居る　中野商店からはさきにこの一番に志願した安永煥君（二〇）を出し、また血書の志願少年が出て在鄕軍人の主人は『この二人をなんとかして立派な軍人にしてやりたい』と鼻高々（寫眞は安少年の血書）

區長をしてゐるといふ地
こゝにも血書
二青年揃つて志願

十八日朝龍山憲兵分隊にも血書の志願者があつた、古市町金永福君（二〇）大島町二六金成德君（二三）は『是非軍人になりたい』と血書の志願をした、金君は前にも志願したが更に血書で志願したもので此外四名の志願者があり、仁川憲兵分遣隊には仁川敷島町五五金光作君（二九）同北平町二九吳在發君（一七）の二人が志願した

銘酒ケイリン

けふ四名
憲兵分隊へ

十八日午後二時までに京城憲兵分隊に來た志願者は京城御成町四五金根昌君（二二）の外四名で同分隊を訪づれた志願者はこれで合計十八名となつた

六少年ガツカリ

を差出し『どうか兵隊へお取り下さい』と國防獻金に五百圓を添へ係員を感激させた

これはまた志願兵制度實施に生んだ町の挿話である―輝かしい星章の軍帽と凛々しいカーキ色軍裝に憧れて、僕等も志願兵になり御國のために盡し度いと意氣込んだ朝鮮の六少年が十八日朝早速鍾路署兵事係に隊伍を整へ勇んで志願を申出でたが係官は未だ上司から何の通牒も指令も出てゐないため『さういふ規則が未だ決つてゐないので折角だが君等の志願を受附けることが出來ない、四月ごろになつてもう一度來て貰ひ度い』と諭され當惑したので少年達は力なく引取つてしまつた

感激の老婆
五百圓を國防獻金

待望の志願兵制度實施の朗報が傳はり全半島は歡喜の坩堝と化してゐるが此朗報は五十の坂を越えたお婆さんの胸まで沸き立たせ京城昌信町六三五の一四李玉順さん（　）は十八日朝東大門署を訪れ『朝鮮にも愈々實施され私達も之でどうやら立派な日本人になつた氣持ちが致します、恰度適齡期の息子をもつて居りませんので感謝のしるしに』と

第四回合同告別式
廿五日七八聯隊で

山西戰線に花と散つた○○部隊鯉登部隊以下卅七柱の護國の英靈は戰友の手に抱かれて十七日午前七時五十一分龍山驛着後部隊に歸營、盛大な慰靈祭が捧げられたが、七十八聯隊營庭に盛大に擧行さるゝこととなつた、告別式の供物、花環の申込は從前通り七八聯隊副官部で供物料として受けることになつてゐる

豪華なプログラム
出演總人員二百七十五名に上る
本社主催『國民讃歌』發表會

……本社懸賞當選歌『國民讃歌』は今や大京城府民の耳から耳へ口から口へと傳はつて愛國の熱情に燃ゆる胸を打ち　更にこの七十萬人の大合唱は擴がる波紋のやうに全半島二千三百萬同胞へ物凄い勢ひで傳はつて行く、そしてやがて一億同胞の大合唱となるのだ……、『國民讃歌』へ我等の『國民讃歌』……と力強く非常時銃後の京城府民に呼びかける『國民讃歌發表會』は愈よ二十日午後六時から府民館大講堂で開催されるが、府內の男女中等學校生徒

…五人に達する豪華なもので獨唱に、合唱に、齊唱に、管絃樂に、舞踊に『國民讃歌』の快きメロディーをステーヂ一ぱいに溢らせて滿場の聽衆の心を完全に愛國の一色に染め上げよう、また同夜は銃後の結束をいやが上にも強く固める種々の愛國歌、軍歌も歌はれることになつてゐるが最後に第三部に入つて京日世界發聲ニユースや東寶ニユース、漫畫文化短篇映畫等も上映される筈である

本社の『國民讃歌發表會』に出演する京城師範九十名、同女子師範五十名、同女子高普四十名、同第一高女二十名、第二高女四十名、京師附屬小學校女生徒四十名、同附屬普通學校男生徒四十名等の合唱、齊唱は早くも同夜の呼び物となつてゐるが各學校でそれぞれ指導の先生が大童で寒い猛練習を開始してゐる、自から口を衝いて出て來るやうな、あの歌ひ易いメロディーは忽ち師範生の、女學生の可憐な男女兒童に覺え込まれて今は晴れの發表會の宵を待つばかり
また舞踊に出演する可愛いお嬢さん達の鮮かな手振り身振りも豪華

舞臺の破れるやうな喝采を豫想させ、鐵道局管絃樂團のメンバー一同も今村正久氏の見事な指揮棒の下に既に一糸亂れぬ緊張のうちに練習が續けられて當夜の出來榮を期待される（寫眞　上は練習中の京師附屬普通學校兒童　下は同じく京師生徒）

寒中に春雨！
鶯も戸惑ひしさうな珍暖
三月の氣象と同じだ

七年ぶりの酷寒が襲來した半島の冬がこれは又どんでん返しの春氣配、地上の生物一切はあまりのことにちよいと戸惑ひしさうな減加テレ（寫眞は十八日朝の天氣圖）

☆……十八日の朝まだき半島はうす霊でも流したやうにドンヨリと曇つて西北鮮は雪、湖南地方は雨、南鮮は曇といふ空の曇除模樣、首都京城でも午前八時ごろから雪は細雨と變り軒うつ雨音は春雨のやうな風情を添へて人々の心にほのぼのとやんわりとした春の觸感を與へてオーバーが重苦しく、スチームやストーブが邪魔扱ひにされた
○……午前六時の天氣圖を覗くと黃海の中心に七六○粍、北滿洲のところに七六一粍、江陵の沖合に七六六粍のいづれも低氣壓があり針路を東へ向けて本州を進行中、半島のドンヨリ模樣もこれが影響したもので、その代り黃海にズーッと走る不連續線のおかげで半島一帶は氣溫がビックリする程昇つて、國境中江鎭では昨年より十二度、京城は十一度、南鮮地方では三度乃至九度も高く、急テムポの大轉回で三月の平均氣溫に等しく、氣溫からゆけば十八日の半島は春三月だ
☆……そこで、仁川の總督府觀測所間野技師に空の打診をお願ひすると
『天氣は今晚あたりからよくなるでせう、氣壓の動きをみますともう冬の氣壓は次第に崩れて平均に比して寒かつたのですが平均すると例年並でした』
と、言語つきまで晴れ〴〵として〝春〟の處方箋だ
☆……十八日午前六時現在、鮮內各地の氣溫と天氣（括弧內は昨年より高い度數）は次の通り
中江鎭雪零下一三（一二）▲新義州雪同五（一〇）▲仁川雪二（八）▲京城曇三（一一）▲全州雨七（一一）▲木浦雨八（九）▲元山雪零下三（三）▲江陵曇〇（四）▲釜山曇八（九）

本府別館成る
五百名を收容する大殿堂
分室は近くお引越し

半島の躍進に伴ひ全鮮の各官公署の事務は大膨脹し昨年三千餘名の大増員を行つたが、半島の總元締である總督府は昨年三月現廳舍西側に二十七萬二千圓を投じ別館を建築中の處近く竣工することゝなつた、別館の事務室は六百四十八坪で約五百名を收容し得るもので會計課では各局課と部屋割の協議中であつたが新しく昌成町や警察官講習所內、その他府內に散在する分室を集め、一階及び二階の一部を鑛山課、二階を會計課營繕係、三階を土木課の一部とし、四階に林政課の一部を收容し本廳舍の事務の連絡上集約的とし現在二階にある法務局と四階の殖産局を入換へることゝなつた

函館驛全燒

【函館電話】十八日午前零時三十八分函館驛構內函館運輸事務所より發火、同驛及び函館運輸事務所を全燒し同二時二十分漸く鎭火した原因は湯呑場の過熱からと見られ重要書類は殆ど持出したが損害は莫大の見込み

初の鐵道愛國日
五千名が神宮へ參拜

局旗を掲げて鐵道報國に邁進してゐる鐵道局では初の鐵道愛國日に當る十八日は午前八時半朝鮮神宮に本局員、工場員、京城事務所員京城驛員など五千人が參拜、皇軍の武運長久を祈願、皇居遙拜皇國臣民の誓詞を齊唱、吉田局長から『時局に對處する鐵道報國』訓話あり萬歲を三唱して散會

漢江の異變
氷のサンドウヰッチ

大きな意味でおひますと春の兆しがチョッピリ見えて來ましたまだ寒さは一、二度は來るでせうが暗い氣持になる冬は遠ざかつてゆきます、御安心下さい、それに今年は一月に入つて例年

數千のスケーターが亂舞してゐた漢江の大鐵橋は十七日夜からの雨まじりの雪の暖かさから、すつかり變調となり、氷上は約一尺から水びたしとなつて、恰度一尺四寸の精氷が水のサンドウヰッチになつた形だ、この異風景は近年にないことで潮流の關係もあるが、お天氣の惡戯が最大の原因で、減水と寒波が再び訪れるまで此處でもスケーターはシヤトアウトを食つてしまつた

スケーター
しめ出し

暖氣急襲下の昌慶苑では酷寒と仲良しの熊公たちがいづれも戸迷ひして、くすぐつたさうな鳴聲を立てゐるかと思へば、スケートリンクは雪が一寸も積んで十八日中は雪搔きで臨時休業、德壽宮も同樣駄目、スケーターは全市からすつかり閉め出しを食つたわけである

平壤は大雪
ラッシュ・アワーに
電車の脫線さわぎ

【平壤電話】平壤附近はこの二三日小春日和のやうな暖かさが續き各家庭では主婦が洗濯物で忙しかつたが、十七日午後十一時五十分ごろから降り出した雪が十一・六糎といふ近年稀な積雪となつて全市は白皚々とした雪野原と化した十八日午前八時四十分ごろこの大雪のため道廳前停留所附近で西平壤行電車が脫線し復舊に約二時間かゝつたが丁度出勤時間のことでサラリーマンは足を奪はれた

白米詐欺

十七日午後一時頃京城山手町七九米屋成錫明（二）さん方に來た若い男が『白米を二叺屆けてくれ』と店員の朴さんに一叺を擔がして若草町庵與丽方門前來ると『こゝで待つてゐるからすぐ一叺を持つて來い』と命じその間に持ち逃げした、龍山署では府內桃花町張潤成（二）を指命手配

子供の癖に此凄さ
貴金屬專門に二千圓稼ぐ

雜踏のデパートの通り魔〃を張つてハリ切る京城本町署では、また稀代の少年怪盜を捕へた――十八日午前二時ごろ京城師範學校前をうろつく怪少年を巡邏中の黃金町六丁目交番勤務相崎巡査が呼びとめ不審訊問すると　逃げ出さうとするのでいよ〳〵怪しいと睨み嚴重取調べた結果　住所不定朴昌植（一）と云ひ昨年九月十日夜南山町二ノ一〇井上壽太郎氏方に忍び込み十八金側中時計その他貴金屬類四點二百餘圓を竊取したのを手はじめに、南山町一ノ一六吉岡順之助氏方の留守宅に侵入、ダイヤ入り指輪（二百圓）眞珠四個入り指輪（百圓）翡翠指輪（百圓）その他高價な裝身具合計十二個時價八百餘圓、黃金町六ノ八一齋藤宮藏氏方の留守中現金百五十圓を盜み、舞鶴町　南山町、舟橋町の目星しい內地人住宅で忍び込み　窃取三十餘件を働き、目下判明したゞけでも被害二千圓にのぼり大膽不敵な少年怪盜であつた、なほ本町署

官舍街荒し

十三日府內鋼町一三龜田橫濱研究所に侵入した宵の忍び込みの手口に端緖を得た龍山署小泉　李刑事が活動、明治町株式會社に合百中の元山生れ前科四犯金相俊（二七）を引致取調べた所昨年一月京城刑務所を出るとすぐその足で官舍荒しを始め上流家庭專門に現金、貴金屬を狙つてゐたもので、自白した金額だけでも約三千圓に上り獎忠壇某本府高官宅では日本刀一口、指揮刀一を盜んでゐた餘罪取調べ中

癖間から京城府內和泉町、獎忠壇、倭城臺の官舍街を舞臺に貴金屬、現金を狙ふ忍び込みが横行、官吏の家庭を脅やかしてゐたが、去る

同じ病院を四回も荒す

和歌山縣生れ前科三犯井原廣市（　）は昨年七月から暮まで四回に亘つて京城花園町陸軍病院に侵入、靴を盜んだ外櫻井町都金谷里の鐵道工事場で二回大工道具を盜み、櫻井町附近の飮食店で無錢飮食をし十七日本町署に御用となつた

金塊事件有罪
石福社長ら公判へ

五年間にわたり內、鮮、滿、支を股にかけて巧に金塊密輸を行ひ、その密輸額六千五百萬圓に達した京城明治町『德力』同『石福』兩店の未曾有の金塊大密輸事件は、京城地方法院第三豫審井判事係で外國爲替管理法違反で審理中のところ　罪狀明白となり　この程終結　石福社長石福三郎（　）德力專務山田是（　）外十餘名は公判に回附された

自轉車泥棒

京畿道龍仁郡遠三面鵲里李昌雲（二）は京城に來る度に本町署や鍾路署管內で自轉車を盜んでは、鄕里で安く賣つてゐたが十八日朝和信百貨店前で本町署員が逮捕、十八台竊取したことを自白した

半島出身の出世力士

【東京電話】十七日付出された出世力士中朝鮮關係の分左の如し
◇東本中　鶴渡（美保關）　慶南南海郡山郡下床面米里一四　金作亥（二）
◇同　鐵山（高砂）　平安北道鐵山郡扶西面　洪遠慶（二）

足なし死體

十六日午前九時ごろ京義線興橋、中和間の線路を保線係員が巡回中、中和驛下の下水溝に兩脚を切斷された朝鮮人男の死體を發見、取調の結果鐵道工の襯衣と十五日中和驛發行の黑橋行三等乘車券を所持してゐるだけで身元不明、乘車中列車の動搖で顚落したものらしい

京城地方
【明日】曇後晴寒くなる　【今晚】小雨雪

仁川地方
【明日】北西の風稍々強く晴れたり曇つたりで未だ小雪がちらつくかも知れぬ　【今晚】北西の風晴少し寒くなる

京城溫度（十七日）最高六度三、最低零下九度五（十八日）今朝六時零下零度三正午五度三

氣象特報
【十八日正午京城測候所發表】京畿道沿海部は西の風が強くなる海上は隊に時化る

今晚のラヂオ

六時お話（東）伊東恭雄▲六二五分講演（城）工藤三次郎▲七時五〇分國民唱歌指導（東）澤崎定之▲七時四〇分講演（天津より）岩下部隊長外▲八時一〇分浪花節（城）木村友衛▲八時四五分長唄（東）松島庄三郎外▲八時四〇分マンドリンギター二重奏（平）佐藤一磨▲九時五分理想講談（東）一龍齋貞山

大相撲春場所
七日目取組（東京電話）

防長山	鏡岩
富士岳	大蛇潟
土州山	出羽花
幡瀨川	五ッ島
羽黑山	錦華山
山錦	金湊
大邱山	鏡岩
名寄岩	武藏山
安藝ノ海	綾昇
駒ノ里	小島川
大浪	射水川
和歌島	番神山
巴潟	高登
綾櫻	昇石
前田山	双葉山
男女ノ川	丸山
太刀若	綾若
鯱ノ里	桂川
高ノ山	玉ノ海
笠置山	旭川
玉錦	大汐

北支行カフエー女給大至急募集

廿四歲迄の內地人、收入多大、面會時間正午より五時迄、御希望の方は左記へ本人御來談を乞ふ
京城府櫻井町二ノ一八九（本町四丁目交番前入）
兒山紹介所　電本五六四二

教育報國の大評定

京畿道學務課では、既報の如く非常時下に於ける第二國民を今後如何に訓育指導すべきかの指針を與へるべく十六日から三日間京城中學校講堂に道內各公立初等中學校長會議を開催したが、會議に先立ち甘蔗知事以下各學校長及び府郡の視學四百餘名は朝鮮神宮に參拜、皇軍の武運長久を祈ると共に教育報國を誓ひ、會議に入るや甘蔗知事から『今後益々二國民たる兒童並に各家庭等は專ら皇國臣民の誓詞を中心に訓育せよ』との根本指針を授け神谷內務部長統裁のもとに三日間に亘る會議の幕を閉ぢた（寫眞は同會場）

國定忠次（くにさだちうじ）

(171)　長谷川伸作　岩田専太郎畫

大戸の關（五）

「文藏」
「へい」
「待て。もう良い、俺の腹はきまつたよ」
「極まつたといつて親分」
「いゝから聞くな俺が云はねえ。忠次はお前とそれからあんたに暗に賭けてゆく五人と、七人だ、七人連れで信州乗込みをやらうと、だつて路用の金がねえんですやらう」
「何とかなるよ」
「親分。その何とかなるといふのが氣になる」
「氣にするた。まあ、任せて置け」
日が高くなる頃まで忠次と文藏は、五人の後を追つて歩いたが、だれ一人姿を見ない。
「親分。かれこれ、もう大戸の御關所ですが、親分は切手があるんですか」
「お前や、先に行つた者達は？」
「持つちやゐません」
「それぢやお關所が通れねえ」
「何をいふんですよ親分。こしとらは堅氣ぢやねえんすぜ」
「抜道を遡る氣か」
「安五郎が道の勝手を上く知つてゐますから安心です」
「俺だつて知つてゐるぜ」
と、薄笑ひをした忠次は、歩きながら關所手形をびりびり引裂いた。
「親分、それは關所手形ぢやねえですか」
「親も子も、歩く道は一ツだよ」
「だつて、折角ある物を濫用た抜道を親分までが通らねえでも良いでせう」
「馬鹿いへ。呼ばれた際に河原を子分が並つてゐるのに親分の俺だけが、中途が怖えと食はずにゐて命永らへ、悧巧者だと人にいはれていゝ氣になれるか、死ぬ時ア諸共、親子一緒だ」
「有難うございます、親分」
「礼をいふ事はねえやな。文藏見な。伊八や何かはこゝから山へ潜つたらしい」
草を踏んだ足の跡が、往來の端にこぼれてゐる土と共に、氣をつけて見る眼にすぐ映る。
「俺達はもう少し先から山へ潜らう」
忠次は事もなげにいつた。
大戸の關といふのは現在の群馬縣吾妻郡坂上村大字大戸にあつたもので、大正五年十一月三日その跡に記念の碑が建つた。碑の篆額は加納治五郎、選文は山本宗太郎、書は内田栗太郎。これをみると大戸の關の大體が判るので引いて置く。

大戸關趾之碑
慶長ノ時、海内ノ要地ニ關ヲ置キ以テ衆庶ノ出入ヲ検メ、凶徒ノ逋逃ヲ警ム。群馬縣坂上村大戸ハ毛信二國ノ通路ニ當リ、又草津温泉ニ浴スル者、必ズ之ヲ過グ、前ハ深水ニ臨ミ、後ハ山嶽ヲ負フ、所謂一夫關ヲ當レバ萬夫モ過グル能ハズ眞ニ要害形勝ノ地ナリ。東西人馬、往來輻輳シ、居民數千、極メテ殷賑。寛永八年官始テ關ヲ此ニ設ケ、監吏四人交々代ツテ之ヲ守ル村民一場五郎左衛門外三人ヲ加ヘ、累世關鑰ヲ司リ能クソノ職ニ服ス、嘉永中侠魁國定忠次、亦此ニ至ル、竟ニ刑セラルト云フ、治道ノ卑人、此關ニ因リテ處ヒナキヲ得、當時之ヲ德トシソノ德業ヲ稱ヘ[illegible]ニ木材ヲ供シ十役ニ服ス。明治二年本關ヲ撤廢ス。今星霜四十餘年ヲ歴テ關趾變遷シソノ址殆ド湮滅ス、村民之ヲ惜ミ、客秋　今上即位ノ大禮ヲ擧ゲサセラル、衆相謀リ金ヲ醵メ碑ヲ關ノ趾ニ建テ永ク之ヲ不朽ニ傳ヘ記念ヲ爲サント欲ス、來テ余ニ文ヲ囑ス、固辭スルヲ得ザルナリ、狀ヲ按ジ之ヲ記ス。銘曰ク、大戸之地、四面環山、商旅來往、樞府從關、誰何將戒、監邪遏宄、王業復古、四海清泰、衆惜遺跡、久隔堙滅、一碑勒此、長傳於人。（原文漢文）

上州には十三ケ所の關所がありそのうち一番有名で一番嚴しいのが碓氷の關である、それとくらべると、大戸は寛かである　と、いふのが草津湯治には多くここを通らねばならないからである　同じ上州猿ケ京の關も草津湯治の者の通るので、矢張り手心がある。
しかし、忠次とその身内は山越をやつて大戸の關の裏を抜けにかかつてゐる。山越の罪は磔だ